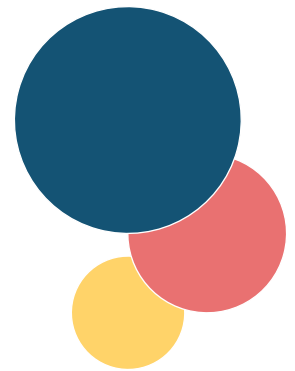


# （Q & A）ループリックってなに？

（講師）山田 嘉徳

大阪産業大学 全学教育機構高等教育センター 准教授





## Q&A

- そもそもループリックとはなにか？
- どういうときにループリックを使うとよいのか？
- ループリックを使うメリットとは？



## Q&A

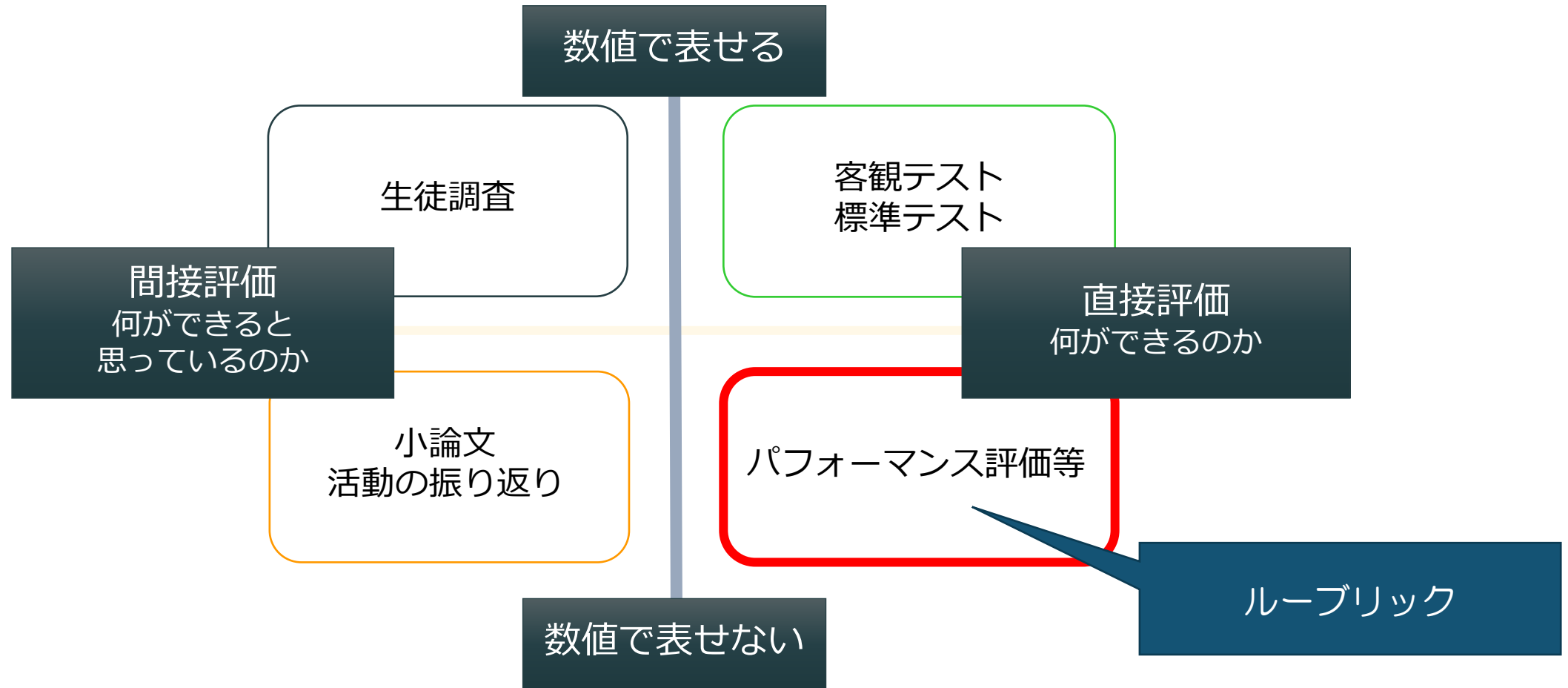
- そもそもループリックとはなにか？
- どういうときにループリックを使うとよいのか？
- ループリックを使うメリットとは？

## ルーブリックとは

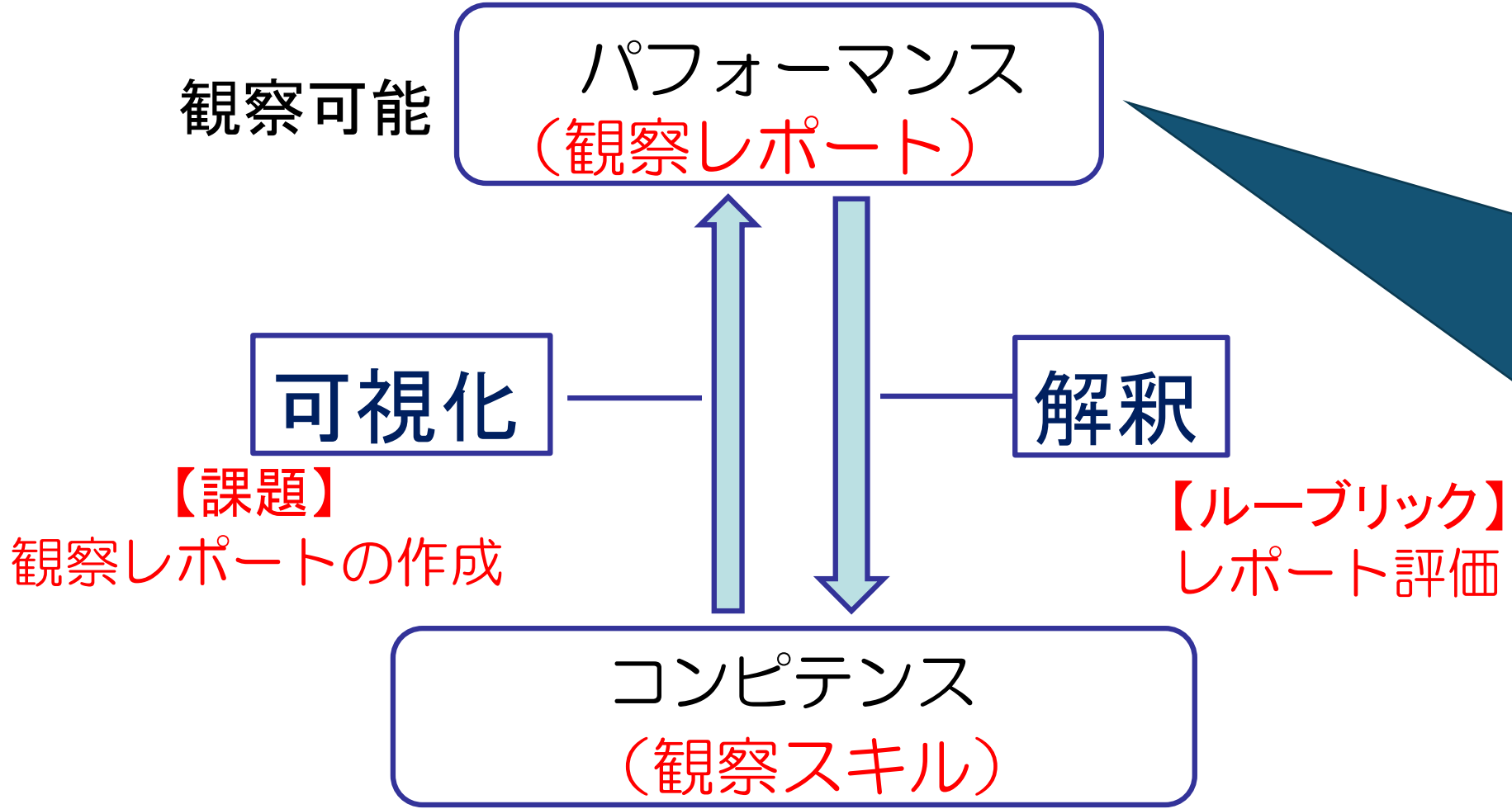
- 学習者が何を学ぶのかを示す「評価項目」と、学習者が到達しているレベルを示す「評価基準」をマトリクス形式で表したものの
- 学習者のパフォーマンス（作品や実演など）を手がかりに、〇×だけでは測れない、概念理解の深さや知識・スキルを総合的に活用する能力を評価するために用いられる

一般的なテストなど量的に測定できない課題の評価のため

# なぜルーブリックによる評価なのか：評価の構造から



# なぜルーブリックによる評価なのか：学習活動の特徴から



- 【特徴】
- ①時間的に比較的長期にわたる学習活動
  - ②一定の意味ある学習活動
  - ③複合的な技能や能力が求められる学習活動
  - ④知識の統合が求められるような学習活動

# ループリックのイメージ

## 評価尺度・基準

### 評価観点・項目

	1	2	3	4
A	□□を満たしていない	□□はあるが、××がない	おおむね○○を満たしている	十分に◎◎であり、過不足なく満たしている
B	* * に関して△△がない	* * に関して=しているが、—がない	* * に関して、++が十分にある	* * に関して、★★できており、☆☆がある
C	●●がなされていない	▲▲がなされているが、××はみられない	▽▽がなされており、◇◇もみられる	▽▽がなされており、◇◇も示され、☆☆である
...	...	...	...	...

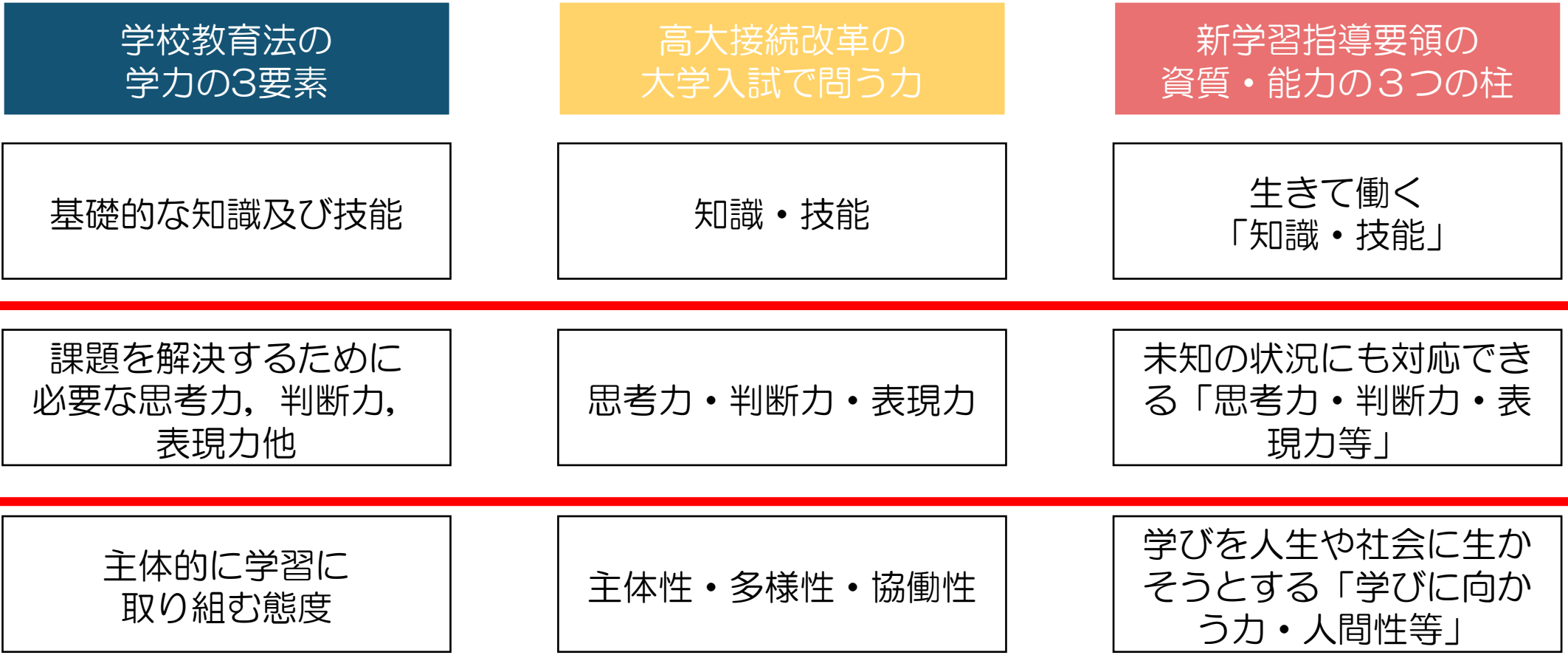


## ■（課題ループリックの事例）理科の授業で植物の成長を継続的に観察した課題レポートをループリックで評価する

	課題意識の深まり
1：記述なし	観察しておらず，記述もみられない。
2：あと一歩	観察はしているが，観察の焦点が少ない。記述は羅列的で， <u>なぜ詳しくみるのかがはっきりとしない。</u>
3：良い	<u>観察の焦点が定まっております，比較したり変化したりする様子を含めて観察できている。予想を立てて観察しており，観察を通してなんらかの発見や示唆が導き出せている。</u>
4：すばらしい	観察の焦点が定まっております，比較したり変化したりする様子について <u>数値・記号等の情報を駆使してきわめて詳細に</u> 観察できている。予想を立てて検証する観察ができており，観察したことを理由づけたり， <u>関連づけたりして総合的に</u> 現象を捉え，新たな発見や示唆が観察事実をもとに論理的に導き出せている。



# なぜそもそもルーブリックなのか：その背景とは



ルーブリックを用いることで適切におさえることができる



## Q&A

- そもそもループリックとはなにか？
- どういうときにループリックを使うとよいのか？
- ループリックを使うメリットとは？

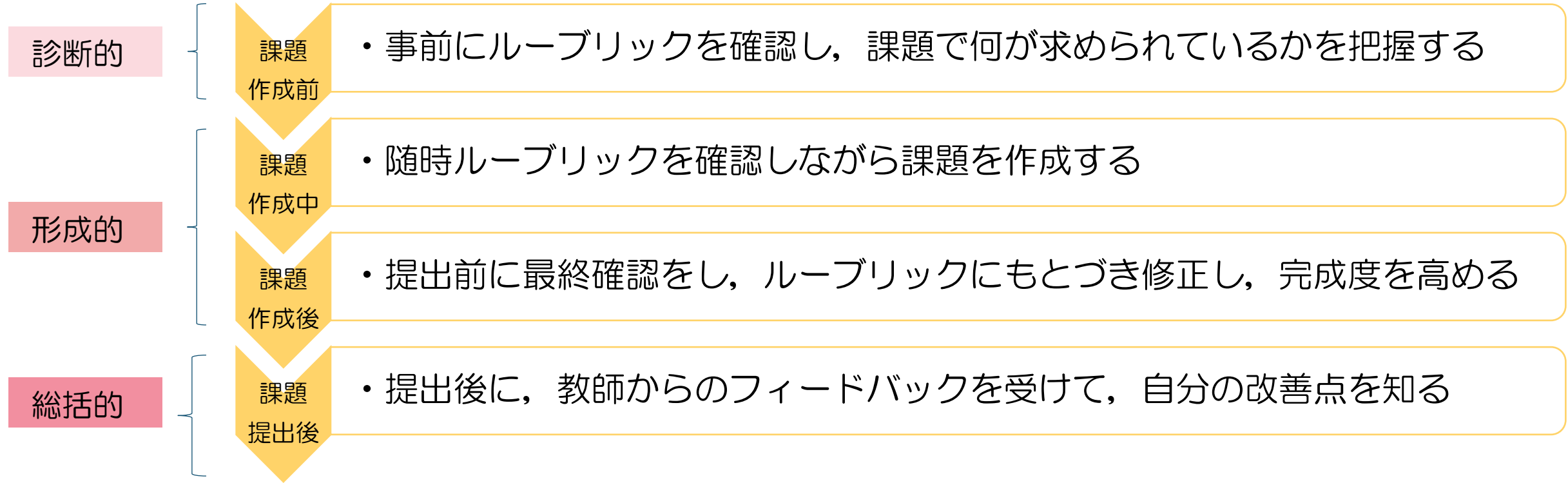
# ● ルーブリックにはどのような使い方があるのか

## ルーブリックの活用の基本形

	評価する人	目的
A	教師	成績評価
B	生徒本人	自分のパフォーマンスの評価
C	生徒同士	ピアレビュー

# 生徒はどういう場面やタイミングでルーブリックを使うのか

## ■ 教科授業，総合学習や行事，学級活動や特別活動等



# ループリックにはどんな種類があるのか

## ① 観点を分けるかどうか

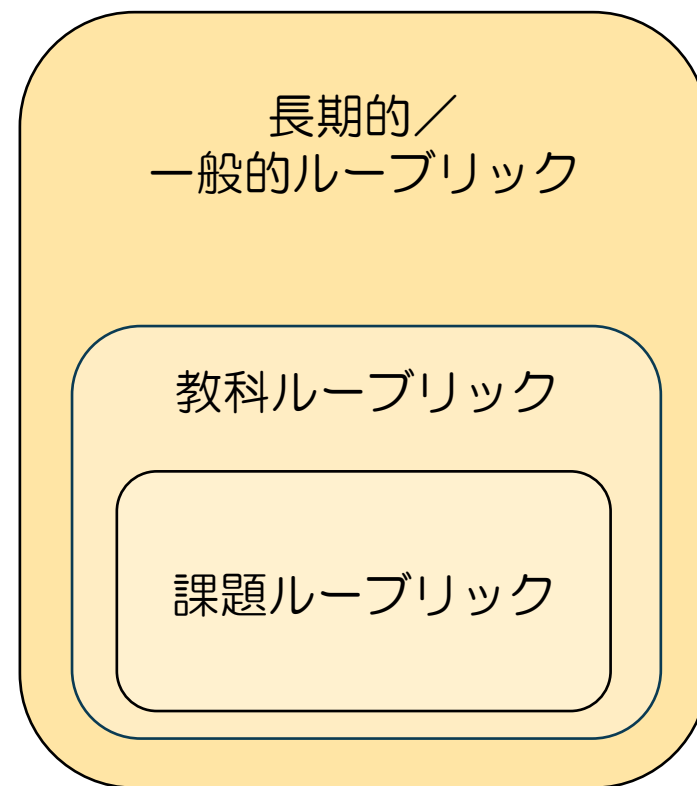
観点別ループリック	観点を分ける
全体ループリック	観点を分けない

## ② どの程度の汎用性があるか

課題ループリック	特定課題に対応する
教科ループリック	特定の教科内容を扱う 例) 数学的論証, 観察レポート
一般的ループリック	多種類のパフォーマンスを対象に適用できる 例) 「洞察に富む」, 「思慮深い」

## ③ 特定場面に対応するのか, 長期的な進歩を示すのか

特定場面ループリック	特定の課題・内容・文脈に対応する
長期的ループリック	長期にわたる成長を描き出す

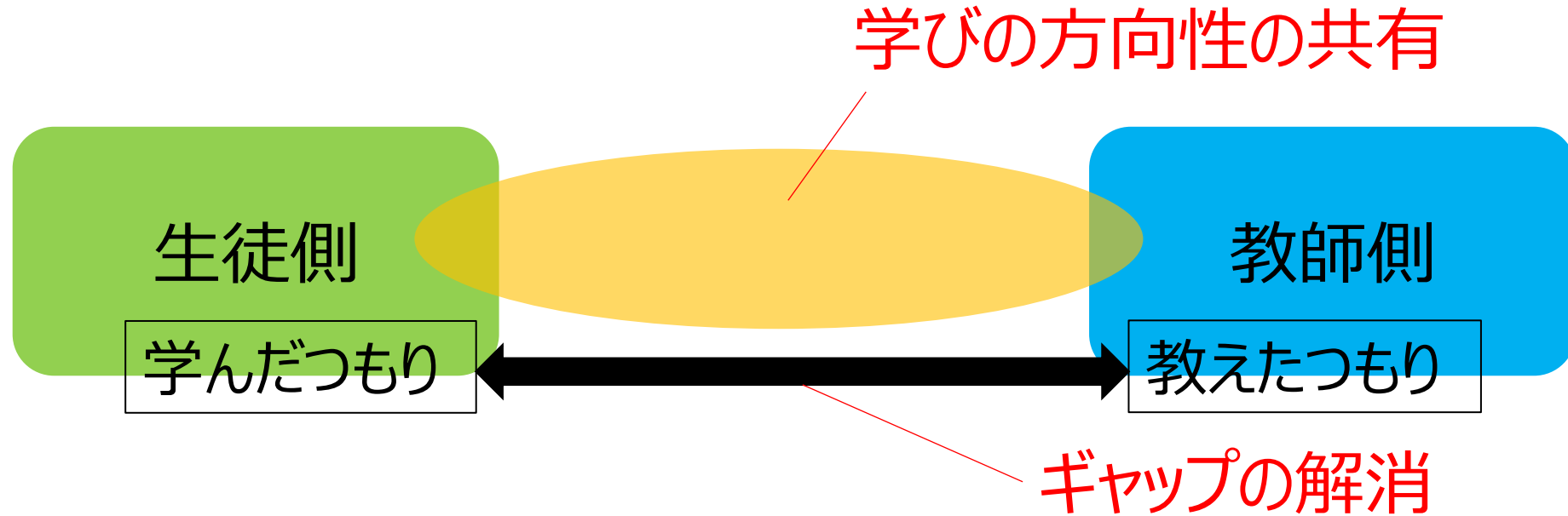




## Q&A

- そもそもループリックとはなにか？
- どういうときにループリックを使うとよいのか？
- ループリックを使うメリットとは？

# ループリックを使うメリットとは



## ■ 生徒による学習目標の把握

教師があらかじめループリックを用いて学習目標を生徒に示すことで、生徒は学習課題を的確に把握し、その主体的な学習の取り組みを促すことができる。

## ■ 教師による学習目標の達成度の把握

教師は、生徒の学習目標の達成度を均等に把握することができる。

## ルーブリックを使う生徒側のメリットとは

- 「教師が生徒にできるようにしてもらいたいこと」を知ることができる
- 公平な評価が得られる
- 自分自身で改善すべき点を知ることができる
- 第三者（教師やクラスの仲間）から分かりやすいフィードバックを受けることができる



## ● 学習活動にルーブリックを取り入れる際のコツは

- 評価のねらいをクラスで共有する
  - 評価の指針と模範（お手本）について互いに理解する機会を取り入れる
- 「評価」が学習活動にどんな影響を与えるかを理解しておく
  - 望ましい学習の姿勢も評価に加味し得るかを検討する
  - 相対評価が馴染まない場面もありうる（グループワークでの評価等）
- 「評価不安」に配慮する
  - ルーブリックによる「評価」は心理的に「安全」なものであると実感させる（数値的な評価結果のみではなく、肯定的なコメントを付与する等）

## ● ルーブリックを使う際に気をつけておくべきポイントは

- 生徒をランク付けをしたり，学習への外的な動機づけとするのではなく，現下の生徒の学習レベルを熟知し，次なる学びのための振り返りにつなげる道具とみなすならば，ルーブリックは学びのための評価につながっていく（kohn, 2006）

生徒自身がルーブリックを使いこなせるようになることが重要で、振り返りの過程を学習活動に組み入れる工夫が求められる



## 《読書案内》

- ルーブリックに関する入門書です。
- 西岡加名恵・石井英真(編) (2013). Q&Aでよくわかる! 「見方・考え方」を育てるパフォーマンス評価 明治図書出版
- 松下佳代 (著) (2007). パフォーマンス評価—子どもたちの思考と表現を評価する (日本標準ブックレット) 日本標準

本取り組みは、科学研究費基盤研究(B)(R元-4)「高大接続・トランジションを見据えた高校IRとカリキュラムアセスメントの開発(溝上慎一代表:課題番号19H01722)」の助成を受けて行われているものです。